

# ほゆう

**会報 12月号**

 平成24年(2012)12月 通算224号  
 発行/北総歩こう会・〒277-0841  
 柏市あけぼの 2-9-20 B902  
 TEL : FAX 04-7145-1620


## 行事の案内板

お願い:北総歩こう会の行事に参加される方は お弁当を出発前に必ずご用意下さい

- ☆平成25年1月例会 松戸史跡七福神めぐり 11km (コースリーダー 森 禎之)  
 日時/1月6日(日)9時00分 団体歩行 参加費/CWA加盟団体無料・その他300円  
 集合/ひまわり公園(新京成線 常盤平駅北口徒歩3分)  
 解散/14時30分頃 鹿島神社 (JR常磐線 北小金駅へ徒歩3分)  
 コース/ひまわり公園～熊野神社～祖光院(恵比寿・大黒天)～八坂神社～貝の花遺跡～子安神社～金谷寺(毘沙門天)～入遺跡～福昌寺(布袋尊)～常真寺(福祿寿)～広徳寺(弁財天)～大谷口歴史公園～慶林寺(寿老人)～鹿島神社～北小金駅  
 ○ みどころ 松戸市には2通りの七福神めぐりがあり、前回は松戸七福神を2回に分けてお参りをしましたが、今回は1日で回れるコースです。途中条件が良ければ冬桜が観賞出来たり、富士山も見られる事でしょう。
- ☆平成25年1月平日ウオーク 柏八社めぐり 13km (コースリーダー 林 克彦)  
 日時/1月16日(水)9時00分 団体歩行 参加費/会員100円・CWA200円・その他300円  
 集合/藤ノ台第一公園(東武野田線逆井駅東口徒歩5分)  
 解散/14時30分頃 柏駅東口2F デッキ広場(JR線柏駅へ徒歩1分)  
 コース/藤ノ台第一公園～八幡神社～神明社(WC)～廣幡八幡宮～増尾城址公園(WC)～香取神社～あかね緑地(日立グランド前・昼食・WC)～柏神社～幸町弁財天～諏訪神社～柏駅東口  
 ○ みどころ 柏市内の神社を十社ほど、めぐります。皆様とご一緒に、新年の無事と平安を祈願して歩きたいと思えます。良ければ、賽銭用の小銭のご用意を。
- ☆平成25年1月CWA行事 伊能忠敬江戸入り4DAY  
 日時/1月24(木)～27(日) 4日間の内どの区間でも1日参加以上で北総歩会の年間完歩認定  
 参加費/ 集合/解散/ 詳細はCWAニュースで確認してご参加下さい
- ☆2月平日ウオーク ジュンサイ池の梅 13km (コースリーダー 早川 進)  
 日時/2月6日(水)9時00分 団体歩行 参加費/会員100円・CWA200円・その他300円  
 集合/西口公園 (JR常磐線松戸駅西口徒歩3分)  
 解散/14時30分頃 市川関所跡(京成線国府台駅へ徒歩5分)  
 コース/西口公園～江戸川土手～矢切(WC)～野菊の小道～ジュンサイ池(昼食・WC)～国府台緑地～里見公園(WC)～市川関所跡  
 ○ みどころ ジュンサイ池周辺の梅が咲いているかどうか?と国府台緑地の冬枯れの様子が楽しみです。
- ☆2月例会 総会ウオーク: 柏の葉から利根運河へ 10km (コースリーダー 林 克彦)  
 日時/2月23日(土)13時00分 団体歩行 《500選のみち 千葉12-9》  
 集合/初石公民館横(東武野田線初石駅徒歩5分) 参加費/CWA加盟団体無料・その他300円  
 解散/16時00分頃 利根運河水辺公園(東武野田線運河駅へ徒歩5分)  
 コース/初石公民館～駒木ふるさとの森～柏の葉公園(WC)～東深井古墳の森(WC)～運河水辺公園  
 ○ みどころ 初石公民館にて北総歩の総会后、午後から冬の柏の葉公園、古墳の森、利根運河を巡ります。ビリケン(福之神)に出会ったら、足を触って見ましょう。



# ふあみりーウオーク

集合時間は毎回 9:00 解散は 12:00 頃

参加費: 会員 100 円・会員以外 200 円

平成 25 年 1 月 5 日(土) 亀戸七福神めぐり

約 6 km (担当: 吉田公康)

ご注意: この例会のみ 9 時 30 分集合です

集合: 総武線亀戸駅 (徒歩 2 分駅前公園)

解散: 伊勢崎線押上駅 (押上公園別名わんぱく公園)

☆ 2 月 16 日(土) 布佐街めぐり

11/10 小さな鳥の資料館→

約 7 km (担当: 九嶋 仁)

集合: JR 成田線布佐駅東口 解散: JR 成田線布佐駅南口



2012/11/10

# ほゆるのひろば



10 月 21 日 第 4 回 柏の葉ウオーキング大会 15 km コースに参加

流山市在住会員

和田武年

5:00 に起床した。体操をするために外に出たらまだ暗かった。今日は柏の葉公園で開催されるウオーキングに参加するために 7:30 から 7:40 には出発しようと考えていた。自主体操を終わって 6:00 からの TV「時事放談」を見ながら朝ご飯を食べた。7:30 に家を出発して柏の葉公園に向かったが、会場が判らずにウロウロした。私の一昨年参加した時の記録で、野外ステージが出発会場である意識が強かったが、今年の出発会場はサッカーなどが開催される「総合競技場」であった。8:30 にやっとたどり着いて体操をして 9:00 に 30 km と 15 km 参加者が出発した。私も 30 km グループの後から出発して、大堀川の木崎橋で 30 km の連中と別れた。大堀川で一緒になった神崎氏と一緒にちょっと寄り道をして、松ヶ崎城跡公園の整備



2012/10/21

いざ出発・エイ!エイ!オー!

状況を観察してから櫛通りのコースに戻った。マルエツから同行した若いアベックの参加者に吉田家の歴史や特にパラリンピックの車椅子テニスで金メダルを取った国枝慎吾選手が吉田家のテニスクラブの所属である事など教えてやった。彼女が男性に「貴方もまたテニスを始めたらどう?」と言われていた。吉田家には 11:15~11:20 入って、お茶を飲んで休んだ。昼食は水辺公園で 11:30~12:00 北総歩会の古い会員の松尾氏と一緒に食べた。松尾氏は S6.05 生まれだそうだから私より 7 歳も年上の満 81 歳である。「まだ 20km は歩けるので今日の 15 km コースはちょうど良い」と話していて、私より先に出発して行った。今日は晴天で日中は暖かな素晴らしいウオーキング日和であった。13:00 にゴールして、初めて入った競技場の客席ばかりでなく綺麗な芝生に手を付けて「人工芝ではないな」と確認したりした。帰りも自宅まで 4 km 歩いて帰宅した。自宅には 14:25 に着いて汗に濡れた衣類を着替えた。(2012.10.21 記)

## ☆ 平日ウオーク 10 回完歩者名

11/21(水)の平日Wでの10回完歩者は2名で、昼食会場の根津神社境内の会場で表彰されました。

中林毅さん(会員) 阿部志津恵さん(東京)

頑張りましたね おめでとう!!

## おめでとう



2012 年 9 月 30 日 会員の認定者

36000 km 藤井順一さん

地球一周 4 万キロを目指して頑張ろう ♪♪

第 35 回日本スリーデーマーチを完歩して JML 大会 30 回完歩を達成、和田武年さんが金メダルを受賞

# 歩いて知った英国の歩行文化 (5/5)

北総歩こう会顧問 黒河内 尚

## 6. 英国に劣らぬ歩行大国になるにはみちづくりから

英国のフットパスのように車を気にせず、歩ける道が身近にあればウォーキング人口は確実に増え、歩くことが生活習慣に溶け込むことになるし、高齢化・少子化社会を乗り越える手立てともなる。だからと言って行政に、道作りを頼るのは間違いである。

道は利用する人がいなければ廃れる。例えば行政が主導した歩道に、環境庁が整備した東海自然歩道がある。魅力ある政府公認のロングウォークトレイルであるにも関わらず、この道を歩く人は少なくて寂れてしまい、整備も行き届かず寂しい限りだ。

しかし、行政と関係なく残っている道もある。熊野古道は昔ながらの自然のままの歩道であり、歩く人も絶えない。世界遺産に登録された事により、歩く人が更に増えつつあるのは喜ばしい事だ。四国の八十八ヶ所遍路みちも、国道車道にズタズタに断ち切られつつも歩く人が絶えず、地元のこの道を愛する人達の支えも有って、ルートは確保されている。ショートトレイルとしては日本最古の道と言われている「奈良・山之辺の道」ここも地元の人が、保存に力を入れているお蔭で歩きたくなる道のトップと言える人気の道として有名だ。

常に歩く人がいて、支える地元の理解と協力がなければ歩くみちは残らない。歩くみちはウォーカーが守り、育ててゆくものであると言う事を、英国でパブリックフットパスを歩いて教えられた。

「日本の美しい歩きたくなるみち 500 選」が一般公募の中から有識者の協力により選定された。このほかにも日本には魅力ある歩きたくなる道は沢山残っている。ウォーキング愛好者はこれらの道を率先して歩くのは勿論、出来るだけ多くの人に知ってもらい、歩いてもらい、歩く事の楽しさ、大切さを分かち合うように努めたい。また地元の人に貴重な道であることへの理解を得る努力が必要である。これがその周辺に住む人たちに伝わり、地域活性化の材料となる事を知ってもらえれば、その道は残りそこを歩く人も増える。



心の癒される英国の家並

でも世界に誇れるロングトレイルを設定しようと、有志と語り、新潟・糸魚川から日本を縦断して伊豆・下田までの歩行ルートを踏査し、開拓を進めている。一人で日本を縦断したり、団体に伊能忠敬ウォークを体験したりした人はいる。しかし、日本の歩行文化を築く実践活動としてロングトレイル作りにチャレンジしようとする人の前例は知らない。改めて敬意を表す。いつの日か、多くの人にそのトレイルを誇りを持って推薦できる日を心待ちにしている。

(社)日本ウォーキング協会も、今まで全国各地でのウォーキング大会開催を主体に運動を展開し成果を上げてきたが、これからは、ランブラーズ協会の果たしてきたような歩行環境の改善を志向しなければならない。歩く事に関心を持ちながらまだ実践に至らない人を掘り起こすため、ウォーキング指導員を全国各地に配置し、草の根運動を進めようとしている。その一つが「歩きたくなる道 500 選」の活



コッツウォルドウェイを歩いた仲間・右端が筆者

まだまだウォーキング人口が少ないわが国では、歩きたくなる道を知ってもらい、歩く事に魅力を感じる人を増やす事を心がけなければならない。ウォーキング人口が増えれば歩く道、歩く環境に関心を持つ人が多くなる筈である。都会でも探せば歩いて楽しい道は有る筈だ。自分だけで楽しむのではなく、そういう道に人を呼び込み、歩く楽しさを知ってもらおう。そして歩く事が生活習慣として国民に定着し、歩く道の必要性が世論になった時、日本でもパブリックフットパスが実現性を帯びてくる。

いま、我々の尊敬するカントリーウォーカー山浦正昭さんは世界各地を歩き、日本に回帰した。日本

用である。この道をガイドする道守（みちもり）を募集中である。また歩きたくなる道を歩いた人に市民スポーツ連盟の認定できる基地設定も進めつつある。地域団体には例会で積極的に500選コースを取り入れてもらい「500選パスポート」を発行した。また車道にある「道の駅」を中心に自然歩道ルートを設定し、駅に駐車して5<sup>キロ</sup>・10<sup>キロ</sup>等、複数の歩行ルート地図を置いて、マイカー族に歩く事を楽しんでもらう企画も進行中である。普段歩いていない人、歩いてみたがいやになった人たちに、歩く楽しみを味わってもらうための試みである。

歩くのに適した道を守り、育てる事から始めて、併せてウォーキング人口の増加による、歩く道作り世論の盛り上がりを期待している。

### おわりに

コッツウォルズ踏査の報告書と言うより、ウォーカーのひとりごとになってしまった。英国の、そしてコッツウォルズのパブリックフットパスの素晴らしさに触れ、羨ましくてならず、日本にも歩行専用路が出来ないものかとの願望が抜けそうにない。

日本は法律が有りそれを守る事で国造り、都市造り、町村が出来た国であった。英国は人が町を造り、都市を造り、国を動かしてきた。人の習慣が法律になった。この文化の違いをコッツウォルドウェイを歩きながら身に染みて味わった旅であり、この違いが日本の歩行専用路実現の難しさを思い知らされた次第である。今出来る事から手を付ける事によって、いつの日か追いつく事が出来るかも知れない。

パブリックフットパスは自然に残ったものではなく、英国のウォーカーが守り・育て、勝ち取ってきたものであり、与えられたものではない。

ウォーキング人口を増やすのが先か、歩ける道作りが先か、よくわからない。両方同時に展開していく事が必要なのであろう。今ある歩きやすい道を何とか維持しながら、そこを歩く人を増やしてゆきたい。



ここもパブリックフットパスだ



博物館ではない、現に人が生活している家だ

歩く事が好きだ、歩く事が大切だと思う人が増え、ウォーキングが国民の生活習慣に根付いた時こそ、日本でも車を気にせず歩ける道・パブリックフットパスが住民の近くに来れる。その時が早く来る事を、そしてウォーキング大国日本と胸を張って言える時が来る日を待ちたい。〈終り〉(2006.09.14記)

平成 24 年 11 月 18 日 月例会「宇宙から万博へ」



## 『つくばの銀杏並木を歩く』を担当して

コースリーダー 竹淵房夫

今回のコースの企画に当たっては以前に係でつくば市内に行くことが多く、街路樹の学万博記念公園の銀杏が毎年きれいに黄を見ており、機会があったら皆さんをご案内思っていたのでコース募集に際し、企画案でコースリーダーを引き受けました。下見をす前の同時期の方が実情に合うコース作りが考えてコース担当役員で昨年12月初めにしました。東大通りのトウカエデ並木、宇宙セ峰公園と科学万博記念公園をつなぐ道で場所は無いかと思ひ、つくば駅前の案内所



仕事の関  
美しさ、科  
葉するの  
したいと  
を提出し  
るなら1年  
出来ると  
歩いてみ  
ンター、同  
お勧めの  
で相談し

たところ手代木公園、松代公園を歩く小路を教えて頂き歩いてみたところ、洞峰公園の銀杏並木を歩くはすぐに決まりました。見学する宇宙センター、昼食場所の手代木公園、休憩・トイレの科学万博記念公園の担当の方に挨拶とトイレ使用のお願いをして来ました。本番1ヶ月前に再度確認のため下見に行き、宇宙センターに見学予約をし、関係場所の管理者に挨拶をしてこれで地図を完成すれば準備は出来たと思っていたところ、集合場所の中央公園の使用申請がされていないとの連絡が公園管理者から有り、すぐに連絡を取り話を聞いて中央公園使用には公園使用許可申請をして許可を頂き、使用料を支払う等のご指導を頂き、改めて手続きをして無事に実施出来ることになりました。1週間前の下見では街路樹、公園の紅(黄)葉が見ごろになっていて後は当日の天気がどうなるかと心配していましたが、前日の寒い雨模様から打って変って晴天の素晴らしい天気恵まれ91名の方に参加して頂き、皆様のお陰で無事に良かったと言われるウォーキングが出来ました。例会の後、役員会が予定されていたのでゴール時間を早めたため、最後の科学万博記念公園を十分にご案内出来なかったのが心残りでした。参加者、役員の皆様有難うございました。(コース担当:軍地・和田)



平成 24 年 11 月 21 日 平日ウォーク

江戸川の遊歩道から一般道へ

## 『文学散歩・樋口一葉』を担当して

コースリーダー 軍地恒四郎

(コース担当:石原・遠藤)

# ほゆるのひるな



## 千葉県水辺一周歩けの旅

(注) 地図も文中の地名もこのウオークを実施した平成2年当時のもので、市町村合併が進んだ現在とは相違します。

2月17日(月) 10日目 五井駅～新浦安駅 37km

北総歩会員 和田武年

豊四季駅 6:53 発に乗って柏駅で加藤さんと合流した。東武線で船橋駅に出て千葉駅で木村君と合流する。内房線 8:28 発に乗って五井駅には8:45 に着いた。準備をして 9:00 に出発した。駅から海岸に向かって 3kmほど歩いて国道16号線に出る。今日のコースは1日、歩く環境が悪い事を覚悟していたが、それに加えて風が強いのは参った。稲毛海浜公園



12:20～12:45 昼休みを取る。ここから7km ほどは静かな海岸通りだったが、やがて東関東高速道の高架下を歩く事になった。埋め立て地の海岸を歩くには、地図に載っている主要道路から外れて歩くと、川や港などにぶつかり先に進めなくなるから、仕方なくこうした車の喧騒音と排気ガスをかぶりながらも我慢して歩く事になる。新浦安駅には 16:00 に着いた。時刻表を見るとあと5分で電車が来るので急いで缶ビールを買いに走った。間もなく来た電車に乗り込み、車内でささやかにひっそりと乾杯した。それにしても今日は、排気ガスと強い風できつい一日であった。



10日目 五井駅出発

2月22日(金) 11日目 安房鴨川駅～千倉駅 23km

今日は、先に残した区間を片付けて、明日から 2 日間の「南房総フラワーマーチ」に参加する予定である。



11日目 千倉駅にゴール

ゆっくり家を出て柏駅で加藤さん、千葉駅で木村君と合流した。今日は 9:57 発の外房線に乗り車中で昼食を済ませた。鴨川駅 12:00 着ですぐ出発した。仁右衛門島を左に見ながらやがて和田町に入る。この町に入ると海岸線はフラワーマーチのコースにもなっており、見覚えのある道だ。海岸から少し内陸部に入った千倉駅には 16:30 着。今日は明日からの大会に備えての軽い足慣らしになった。さて、今夜の宿は駅から 7 kmほど歩いた場所にあり、宿に着いたのは 18:00 になった。既に大会参加の仲間が来ており、楽しい夕食になった。(つづく)

## 平成 25 年度会員継続のご案内(お願い)

①お手元に届いている「継続申込書」に必要事項を記入の上、事務局までお送り下さい。

②年会費は、郵便振替口座にお振込みして下さい。

\* 11月・12月の例会・平日ウオークの際、会場で受付しますので、よろしくお願いいたします。

なお、JWA維持会員登録及び傷害保険加入手続きの都合上、12月10日までにお願い致します。

【編集後記】北総歩こう会の第1回設立準備会は1992.5.30 豊四季近隣センターに12名の歩けの猛者連中が集まって開かれた。それから準備会を重ねて、翌年1993.4.11 午前中「うなぎの道ウオーク」午後から豊四季近隣センターで創立総会が開かれて発足した。以来、20年の歳月が過ぎようとしている。人間で言えば満20歳の成人式である。12名の猛者のうち現に運営に関係しているのは小生一人、既に4名は鬼籍に入った。戦後生まれ

が退職して会の運営上でも頼もしい存在になって来ている。来年は良い20周年を迎えられそうだ〈歩遊人〉

5. 歩かせて いただく土地に 感謝して